

<イベントレポート>

『マニユライフ生命 わくわくチャリティラン&駅伝 2011 in 味スタ』

**雨天にも負けず、約 6500 人の参加者が集まり大盛況！
タレントの吉澤ひとみさんらがゲスト参加し、ランナーを応援！**

東京メトロポリタンテレビジョン株式会社(代表取締役社長:中川 謙三)と株式会社東京スタジアム(代表取締役社長:齋藤一美)が主催し、マニユライフ生命保険株式会社(代表執行役社長兼CEO:クレイグ・ブロムリー、以下マニユライフ生命)が特別協賛するチャリティイベント『マニユライフ生命 わくわくチャリティラン&駅伝2011 in味スタ』が、2011年10月15日(土)、味の素スタジアム(調布市)にて開催されました。2008年に始まり第4回目の開催となる今年は、早朝からの雨天にもかかわらず、約6500人という大勢の参加者を数え、悪天候をも凌ぐ賑やかなイベントとなりました。

チャリティランには、1キロ親子手つなぎラン&ちびっこラン、5キロファンランと20キロ駅伝の3つの種目が設定され、家族連れ、仮装している方、本格的に走られる方まで、様々な方がランニングを楽しまれました。また、今年はマラソン初心者でも有名な大会に参加できるチャンスとして、男女各1名様に2012年ボストンマラソンの特別参加権(注1)が当たる抽選会を実施。当選者の名前が呼ばれると、会場は大いに盛り上がりを見せました。

今回特別ゲストとして、タレントの吉澤ひとみさんや、2011年ボストンマラソン車椅子の部門で優勝された副島正純選手、土田和歌子選手が登場しました。セレモニーのプレゼンターやランのスターター、ボストンマラソン参加権の抽選役を務めて頂いたほか、走るランナー達とハイタッチをするなどして応援をして頂きました。

吉澤さんのコメントは以下のとおりです。「予定していた5kmのファンランは雨の為参加できませんでしたが、参加した皆さんと、ハイタッチやプレゼンターとしても触れ合えることができ、とても楽しかったです。チャリティランはとても意義あるイベントだと思うので、ぜひまた機会があれば参加したいと思います。」

スタジアム内では、子どもたちが遊べるブースがマニユライフ生命によって運営されたほか、昨年に引き続き、大道芸人によるパフォーマンスや、救急救命士を目指す国士館大学の学生による「AED(自動体外式除細動器)を使っての心肺蘇生法講習会」、地元調布市立第五中学校の生徒たちによる「よさこい」の演技、MFP チアリーディングスクール味スタ校の生徒によるチアリーディングパフォーマンスなどが披露され、来場者を楽しく盛り上げてくれました。

当イベントに特別協賛をするマニユライフ生命の社員やその家族は、ボランティアスタッフとして参加し、来場者受け付けやランナーの給水、募金の呼びかけ等、本イベントの運営サポートに従事しました。マニユライフ生命の森田 均 常務執行役員は次のように述べています。「今年は、これまでで最も多くのマニユライフ生命の社員や関係者が、ボランティアスタッフとして運営のお手伝いをさせていただきました。お陰様でスタッフ一人ひとりが、地域社会の中で自分の担うべき役割について考え、皆さまとの繋がりを深める機会を得ることができました。今後も、マニユライフ生命は皆さまの良きパートナーとして、ご信頼にお応えしてゆく努力を続けてまいります。」

このイベントでは、当日、来場者の方に募金のご協力が呼びかけられました。当日集まった募金と駅伝参加費用の一部を合計した1,967,327円が、社会福祉法人中央共同募金会に寄贈され、被災者のために活動するボランティアグループや NPO を支える『赤い羽根「災害ボランティア・NPO 活動サポート募金』に寄付されます。



※「吉澤」の「吉」の上側は「土」で下線が長い異字体です。

(注1)マニユライフ・ファイナンシャル・グループの一社であるジョン・ハンコック社がボストンマラソンのメインスポンサーであることから、今回の特別出場資格の提供が実現。渡航費、宿泊費はご本人負担。ボストンマラソン参加資格年齢規定により、抽選は18歳以上の方に限定。

【イベント概要】

- 大会名称 『マニユライフ生命 わくわくチャリティラン& 駅伝 2011 in 味スタ』
- 開催日 2011年10月15日(土)
- 会場 味の素スタジアム/武蔵野の森公園特設コース
- 競技種目 【ファンラン部門】
 - ・5k ファンラン(小学生～一般) /2500人
 - ・1k 親子手つなぎラン&ちびっ子ラン(幼児・小学生と保護者/子ども単独) /2500人
 【20k 駅伝部門】
 - ・男子の部・女子の部(中学生以上/5k×4人) /750チーム 3000人
 - ・混成の部(中学生以上) /750チーム 3000人
- 当日ゲスト 吉澤ひとみさん(タレント) / 副島正純さん(アスリート) / 土田和歌子さん(アスリート)
- 主催 TOKYO MX、(株)東京スタジアム
- 共催 (社)東京陸上競技協会、東京新聞・東京中日スポーツ、TOKYO FM
- 主管 (社)東京陸上競技協会
- 特別協賛 マニユライフ生命保険株式会社
- 協賛 味の素株式会社、カルピス株式会社
- 後援 カナダ大使館、調布市、調布市教委、調布市体育協会、府中市、府中市教育委員会、府中市体育協会、(社)東京都障害者スポーツ協会、東京都公園協会、京王グループ、カナダ アイスフィールド、中央共同募金会、国士舘大学ウエルネス・リサーチセンター
- 協力 調布市市民活動支援センター、ミズノスポーツサービス株式会社

【イベントの様子】 ※一部抜粋



マニユライフ生命の社会貢献活動マスコット「マニユビー」といっしょにマニユビー体操を楽しむランナーたち



特別ゲストとしてステージに上がるタレントの吉澤ひとみさん。表彰式のプレゼンターやランナーの応援をして頂きました。



ちびっこランに参加する大勢のちびっこランナーたち。雨にも負けず元気いっぱいです！



特別ゲストとしてステージに上がる、ボストンマラソン車椅子ランナーの副島正純選手(写真右)、土田和歌子選手(写真左)



© TOKYO MX

マニライフ生命のブースでは、ぬり絵や折り紙で遊べるほか、絵本の読み聞かせが日本語と英語で行われる等、多くの子供たちが夢中な様子でした。



© TOKYO MX

多くのマニライフ生命の社員やそのご家族が、ボランティアとして参加しました。



© TOKYO MX

MFP チアリーディングスクール味スタ校の生徒によるチアリーディングパフォーマンス。可愛くて元気な姿に会場が盛り上がりました。



© TOKYO MX

懸命に走るランナーたち。今年は当日エントリーも受け付け、たくさんのランナーが参加してくれました。

マニライフについて

マニライフ生命保険株式会社（「マニライフ生命」）は、マニライフ・ファイナンシャルのグループ企業です。

マニライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界 21 カ国・地域で事業を展開している金融サービスのリーディング・グループです。マニライフは 120 年以上にわたり、信頼に支えられ、その信頼に真摯に応える企業として、また力強さに満ち、明日を切り拓く企業として、人生で最も重要な資金面の決断を行う際の解決策を、世界各地のお客さまにお届けすることを目指してまいりました。同社職員、エーเจントおよび販売パートナーの国際的なネットワークを通じて、世界各地の数百万のお客さまに経済的保障や資産運用・形成のための商品・サービスをご提供しています。また、世界各地の機関投資家のお客さまには、資産運用サービスのみならず、生命保険および損害・傷害保険の再々保険に特化した再保険の解決策もご提供しています。マニライフ・ファイナンシャルとその子会社の管理運用資産は、2011 年 6 月 30 日現在 4,810 億カナダドル(4,980 億米ドル)となっています。カナダおよびアジア地域ではマニライフ・ファイナンシャルとして、米国においては主にジョン・ハンコックとして事業を展開しています。

マニライフ・ファイナンシャル社—は、トロント証券取引所、ニューヨーク証券取引所およびフィリピン証券取引所においては「MFC」の銘柄コードで、また、香港証券取引所では「945」で取引されています。マニライフ・ファイナンシャルについての詳細は同社ホームページ (www.manulife.com) をご覧下さい。マニライフ生命のホームページは次の通りです。(www.manulife.co.jp)